

進化する治療法解説

「血液のがん」テーマに

製鉄記念室蘭
病院セミナー



悪性リンパ腫や多発性骨髄腫の治療法などを解説する黒田科長

製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)の「第32回がんセミナー」が18日、室蘭市知利別町の同病院で開かれ、市民らは「血液のがん」

となる悪性リンパ腫や多発性骨髄腫の進化する治療法などに理解を深めた。約120人が耳を傾ける中、黒田裕行・血液腫瘍内

科長が「最近増加している血液がん」悪性リンパ腫と多発性骨髄腫」をテーマに解説。黒田科長は「悪性リンパ腫は日本人の悪性腫瘍罹患率第9位。罹患率が上昇している」「多発性骨髄腫は高齢者に多い」などと特徴を説明した。

その上で、新薬の開発をはじめ、化学療法や放射線療法、分子標的治療、免疫療法の進展な

ど、日進月歩の現状を説明。つてくる」と強調。市民らは着実に進化している治療の数々に注目していた。
(松岡秀宜)